



議会だより

平成29年 5月1日発行
 発行 青森県上北郡横浜町議会
 〒039-4145
 青森県上北郡横浜町字寺下35
 電話 (0175) 78-2111
 F A X (0175) 78-2118
 編集 議会広報編集委員会

横浜町第1回定例町議会



撮影日：平成29年 3月 2日

●29年度一般会計予算 P 2～

予算総額37億4,400万円 前年度比5億7,300万円の減
限られた財源の中で、福祉対策、生活環境対策、第一次産業振興や子育て支援などの
所要額を確保

●第1回定例町議会 P 4～

一般質問に3人登壇 橋本円議員、沖津正博議員、野坂浩二議員

●予算審査特別委員会 (町政全般多岐にわたり質疑) P 9～

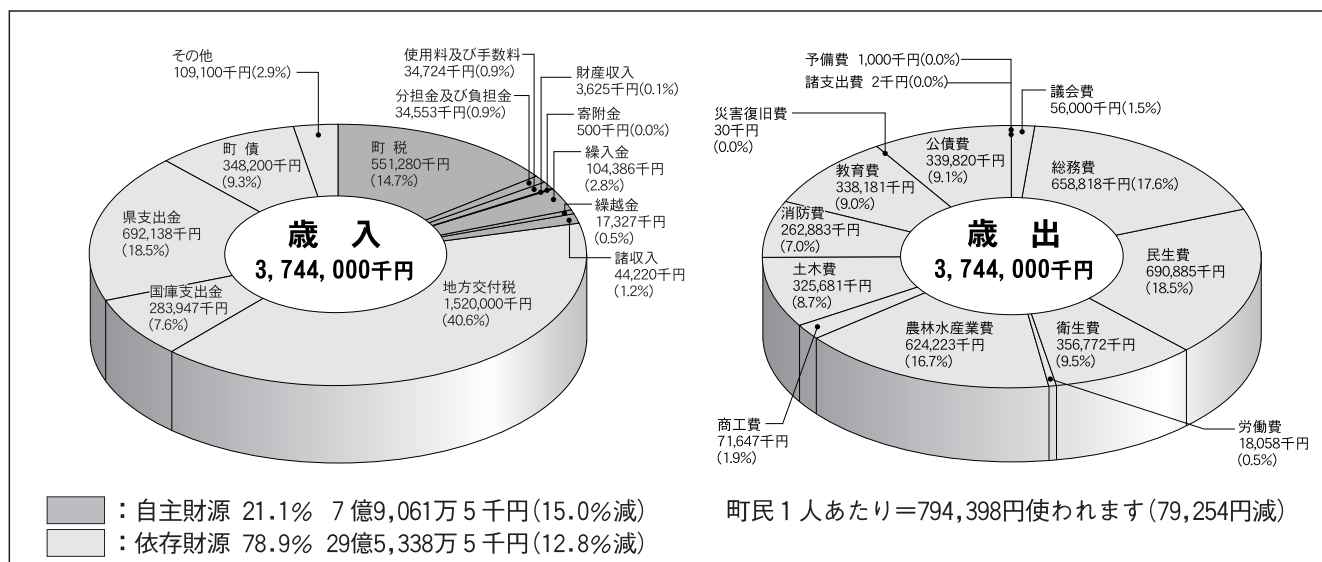
●第2回臨時町議会 (審議した主な内容) P 11～

平成29年度町の予算

一般会計予算 37億4,400万円

(前年比 5億7,300万円の減 13.3%の減)

当初予算編成にあたっては、事務経費の一層の節減に努め、各種補助金や継続事業については見直しを行う一方、福祉対策、生活環境対策などの所要額を確保し、第一次産業振興や子育て支援、学校給食センター外構整備及びトレーニングセンター改修工事などに重点を置いた予算措置となりました。



《一般会計予算の概要(歳出)》

議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費
5,600万円	6億5,882万円	6億9,089万円	3億5,677万円	1,806万円	6億2,423万円
商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費
7,165万円	3億2,569万円	2億6,289万円	3億3,819万円	3万円	3億3,982万円
					諸支出金
					2千円
					予備費
					100万円

《主な使いみち及び予算額》

＜総務課・企画財政課＞

安全安心して住むことのできるまちづくり政策

〔新規事業〕

庁舎改修工事実施設計及び耐震補強設計業務委託料	864万円
公用車購入	259万円
町政要覧作成業務委託料	224万4千円
学校給食センター維持運営基金積立金	4,965万円
強化化システム保守料	335万円
団体内総合宛名システム運用支援業務委託料	1,062万8千円
平成30年度固定資産評価替関連業務委託料	524万8千円
住基ネットシステム改修業務委託料	218万2千円
住民基本台帳システム等改修業務委託料	246万3千円
ヘリポート建設事業（外構整備）	500万円

〔継続事業〕

がんばる団体活動助成事業（50万円×3団体）	150万円
元気な町内会活動助成事業（30万円×8団体）	240万円
財務書類作成支援業務委託料	313万2千円

＜健康福祉課＞

子育て支援の施策充実

〔継続事業〕

子ども医療助成事業（電源立地地域対策交付金事業）	
※高校生までの医療費無料化	1,400万円

＜産業振興課＞

一次産業の経営安定に向けた施策の取り組み

〔新規事業〕

トレーニングセンター改修事業	1億900万円
----------------	---------

〔継続事業〕

馬鈴薯生産振興対策事業	150万円
中山間地域等直接支払制度事業	2,628万円
菜の花フェスティバル運営事業	1,582万3千円
ふるさとのまつり運営事業	769万円

＜建設水道課＞

水産業の基盤整備のため漁港整備に重点を

〔新規事業〕

道路改良舗装工事費	7,161万6千円
水道事業基本計画（経営戦略）策定業務町補助金	584万3千円

〔継続事業〕

合併処理浄化槽補助金	385万1千円
道路補修整備事業	650万円
道路除雪作業委託費	3,300万円
住宅建設費（イタヤノ木団地）	1億2,608万6千円
橋梁補修事業	7,900万円
横浜地区漁港施設機能強化事業	2億5,500万円

＜教育委員会・給食センター＞

将来を担う子ども達の教育環境の充実を

〔新規事業〕

ふれあいセンター男女トイレ便器改修工事	300万円
ふれあいセンターキュービクルフェンス工事費	160万円
給食センター建設事業（外構整備）	1,809万円

〔継続事業〕

中学生海外体験学習事業	290万円
町費負担臨時教職員（小学校2名、中学校2名）	1,400万円
スクールバス運転業務委託料	3,076万1千円

◎特別会計

●横浜町国民健康保険特別会計	8億6,764万2千円
●横浜町介護保険特別会計	
・保健事業勘定	7億3,438万3千円
・介護サービス事業勘定	293万6千円
●横浜町後期高齢者医療特別会計	5,219万5千円
●百目木地区農業集落排水事業特別会計	5,332万6千円
●横浜町下水道事業特別会計	699万5千円
●横浜町水道事業会計	
・3条予算（企業活動に対応する費用）	1億176万5千円
・4条予算（施設設備への投資やその財源となる企業債等）	2,489万5千円

《補正予算（平成28年度）》

◇一般会計

7,540万9千円を減額し

→予算総額を45億2,066万4千円へ

＜主な施策・予算＞

財政調整基金積立金	3,651万5千円増額
百目木漁港漁村再生交付金事業	1,034万5千円減額
神幸橋補修工事	1,621万6千円減額
町営住宅建設工事	1,260万4千円減額
学校給食センター外構整備工事	1,542万3千円減額
災害復旧工事費	354万3千円増額

◇国民健康保険特別会計

2,981万9千円を減額し→予算総額を8億6,022万6千円へ

▶後期高齢者支援金、介護給付金等の保険財政安定化事業拠出金を減額

◇介護保険特別会計

4,580万1千円を減額し→予算総額を7億4,585万円へ

▶施設介護サービス給付費を減額

◇百目木地区農業集落排水事業特別会計

63万5千円を減額し→予算総額を6,502万5千円へ

▶一般管理費を減額

◇水道事業会計

3条予算（企業活動による収益とそれに対応する費用）

・収益的収入
345万円を減額し→予算総額を9,544万6千円へ
▶工事費負担金の減額

・収益的支出

390万5千円を減額し→予算総額を9,043万8千円へ
▶営業費用の減額

4条予算（施設設備への投資やその財源となる企業債等）

・資本的支出
549万8千円を減額し→予算総額を9,518万7千円へ
▶工事費の減額

平成29年 第1回定例町議会

3月定例会は3月2日（木）から8日（水）までの7日間の会期日程で開会し、日程を1日繰り上げ閉会しました。

初日に町長の提案理由の説明があり、平成29年度一般会計予算、職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例案など18件、組合規約の変更1件、工事請負契約の一部変更1件、補正予算案5件、その他9件、合計34案件を慎重審査し、原案のとおり可決、同意しました。平成29年度一般会計、特別会計など併せて7件については予算審査特別委員会を設置し、原案のとおり可決しました。

一般質問には、橋本円議員、沖津正博議員、野坂浩二議員の3人が登壇し、子ども議会についてや下北縦貫道・道の駅構想で住民フォーラムの開催について、町公共施設等による修繕・改修についてなど多方面にわたり論戦を展開しました。

審議した主な内容

（全議案原案可決）

◎職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、配偶者同行休業の期間の再度の延長ができる特別の事情を加える等、所要の改正を行うため提案するものです。

◎横浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員に係る育児休業の導入について、所要の改正を行うため提案するものです。

◎横浜町行政不服審査会条例の一部を改正する条例

不服申し立てに係る事件ごとに審査会を設置する等、所要の改正を行うため提案するものです。

◎横浜町個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第26条の追加に伴い、所要の改正を行うため提案するものです。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第19条第8号の追加に伴い、所要の改正を行うため提案するものです。

◎横浜町税条例等の一部を改正する条例

地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律（平成28年法律第86号）及び地方税法施行令の一部を改正する政令等の一部を改正する政令（平成28年政令第360号）が平成28年11月28日にそれぞれ公布されました。また、特定非営利活動促進法の一部を改正する法律（平成28年法律第70号）が平成28年6月7日に公布されました。これにより、町税の課税・徴収事務に支障のないよう、改正するたため提案するものです。

◎横浜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第26条の追加に伴い、所要の改正を行うため提案するもの

◎横浜町々営牧場設置条例を廃止する条例

平成23年度で横浜町々営牧場が廃止されたことから条例を廃止するため提案するものです。

◎横浜町営住宅条例の一部を改正する条例

町営住宅の明渡し請求の基準を追加し、団地内の規律を保つため提案するものです。

◎横浜町学校給食センターの設置、管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例

平成28年度において新たに学校給食センターが完成することに伴い、給食センターの設置場所を変更し、管内4小学校の統合により横浜小学校の1校となったため、学校給食センター運営委員の定数を「7名以内」

に改めるとともに、字句の修正等を行うため提案するものです。

◎横浜町ふれあいセンター設置条例の一部を改正する条例

ふれあいセンター基本使用料等を見直し、使用料の計算方法を簡素化するため提案するものです。

◎横浜町介護保険条例の一部を改正する条例

平成27年4月から、消費税引き上げによる公費を投入して低所得者の保険料の軽減強化（1段階から3段階軽減する）を実施しているところ。消費税率10%への引上げが平成29年4月に実施されることを前提に、同月から、町民税非課税世帯全体（1段階から3段階）を対象として、完全実施する予定としていましたが、消費税率10%への

引上げが平成31年10月に延期されるため、現行の第1段階の方への第1号保険料軽減を継続するために提案するものです。

◎青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更に

ついて
構成団体である八戸市階上町田代小学校中学校組合が平成29年3月31日をもって解散することに伴い、青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更に

◎工事請負契約の一部変更について

平成28年6月27日付けで本契約を締結した公教第2号横浜町学校給食センター建設工事について、請負契約の一部（突入電流抑制装置の新設）を変更する契約を締結したので、横浜町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案するものです。

工事名

横浜町学校給食センター建設工事

工事金額

変更前 金 550,800,000円
変更後 金 552,956,570円

契約の相手方

十和田市東13番町15番27株式会社 福萬組
代表取締役社長 井上 馨

人事案件

横浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

平成28年4月1日施行の農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会委員の選任方法が、現行の公職選挙法による公選制から、町長の任命制に移行したことに伴い、平成29年7月19日で任期満了となる農業委員の改選にあたり議会の同意を得るものです。

任期

平成29年7月20日から平成31年7月19日まで

委員

長倉 喜美男 氏
沖津 由臈 氏
青木 一人 氏
澤谷 政夫 氏
野坂 時夫 氏
菊池 國廣 氏
杉山 幸進 氏
鳥山 義広 氏
濱辺 健一 氏

(9名)

一般質問



橋本 円 議員

質問1 子ども議会について

昨年より18歳から選挙権が与えられ、参議院選挙では若者の関心と話題性がありました。横浜町に於いても、若い方達に政治や議員についてわかってもらう事や若い人たちの考えを町政に反映するためにも子ども議会を開催する必要があると思うが、開催する考えがあるか伺います。

答弁(町長)

教育委員会を通じ学校との調整をお願いするとともに、町長部局と議会事

事務局においても内容を協議したい

子ども議会についてであります。子どもたちには自分たちが住む横浜町について考えてもらおう、いい機会になると思っています。また、子ども議員として一般質問等をする事により、議会制度についての理解が深まる事にも選挙制度についても興味を持たれることが期待されます。子ども議会を開催するためには、教育委員会を通じ学校との調整をお願いするとともに、町長部局と議会事務局等においても内容を協議する必要があるため、今後検討させていただきます。

質問2 消防団員の中型免許取得に対する助成について

当町の消防団は、少子化により団への加入者が減少している。団への加

入を勧誘に行っても、免許証の問題が指摘され、道路交通法の変更により今の普通自動車免許だと乗れない消防自動車が出てくる。中型免許の必要な分団に対して免許取得のために助成する考えがないか伺います。

答弁(町長)

団員の免許の取得状況を調査し、近隣町村の状況も聞きながら検討したい

消防団への中型免許取得の助成については、本町地区の2分団に配備されている消防車は車両総重量が5トン以上で中型免許が必要となっているのは事実でございます。また、車両の更新にも期間がありますので、先に、団員の免許の取得状況を調査し、中型免許が必要な人数がどのくらいなのか確認し、分団の方々とも協議するとともに、近隣町村の状況も聞きながら検討してまいりたいと

考えておりますので、ご理解くださるようお願いいたします。

一般質問



沖津 正博 議員

質問1 下北縦貫道・道の駅構想で住民フォーラムの開催を求める

下北縦貫道における道の駅防災エリアの多角的な課題解決策を探り、道の駅を中心とした活路と展望を開くためにも専門家や経験者からの報告や提案を町民が聞ける話し合いの場と活力醸成のためにも道の駅縦貫道に関する菜の花まちづくりフォーラムの開催を提案します。また、開通する

吹越バイパスと豊栄平町道との交差点は平面交差となり、住民通行にとつて大変危険です。また縦貫道に乗り降りするため、豊栄平町道を利用する車両が増えると推察されますので、可能な限り開通までに信号機の設置を求めます。



現在工事が行われている下北縦貫道（吹越バイパス）

答弁(町長)

県道路課と連携し、内容を協議して平成29年度に開催する

道の駅、下北縦貫道路

に関するフォーラム開催については、県道路課と連携し、内容を協議して平成29年度開催することとしております。豊栄平町道との交差点に信号の設置を求めるについては、下北半島縦貫道路吹越バイパスは従来、町道豊栄平善知鳥線と立体交差でJ R大湊線を跨線橋で渡り、国道279号線に接続する計画でありましたが、平成25年度において横浜南工区の延伸が認められ、それに伴い横浜吹越インターチェンジ形状の見直しを行っております。青森県では、現在、青森県公安委員会との交差点の形状、規制方式など協議を行っており、信号機の設置については計画されていないようです。今後の交通量

等の推移を見ながら信号機の設置について、町としても青森県公安委員会、野辺地警察署及び青森県と協議していきたいと考えております。

質問2

就学援助制度の入学準備費を入学前に支給を求める

子どもの貧困化が話題になる中で、就学援助制度の充実がますます求められています。町内では小中学生58人に給付され、大きな支えになっています。しかし、給付の中の入学準備金は所得確定後の入学後に支給されています。入学前に支給できるように改善を求めます。

答弁(教育長)

就学援助費平成29年度の支給額は2倍に引き上げ、4月中に支給できるように改善する

横浜町では、横浜町就学援助費支給要綱により就学援助費を支給することとしています。新入学児童生徒学用品費については、国の補助金に準じて4月1日から3月31日までの支給対象期間としており、例年、新年度に入ってから5月下旬に小学生へ約2万円、中学生へ約2万3千円支給しております。29年度の支給額は2倍程度に単価が引き上げられる予定となっていますが、事務手続きを早めに進め、4月中に給付できるようにしたいと考えております。

質問3

農家所得補償の継続を求め、農協解体攻撃は許されない

平成30年から始まる「米政策の見直し」の主眼は個別所得補償の廃止にあり、代わって農家は収入保険制度が導入される予定です。この制度

は、青色申告者に限定し高い掛金など弱点だらけです。現在の個別所得補償10a当たり、7,500円の水田固定払いの金額は町でいくらになるのか。減反廃止も含めどのような影響が出てくるのか。考えるのか。7,500円を町が少しでも補てんする考えがないか伺います。また、現在農家の担い手がいる件数はいくらか。青年就農給付制度のほかに支援の手立てをすることを考えはないか伺います。さらに、農協攻撃に対し、農協と連携を深め機敏にモノ申して行くべきと考えますがどのように考えているかお尋ねします。

答弁(町長)

廃止以降の町からの補てんは、国・県・近隣市町村の動向を見て判断したい

横浜町の米の直接支払交付金額は約700万円となっており、一戸当たり5万7千円です。廃止

に伴う影響は、交付金廃止による手取り減少、併せて安心で安全な食糧の確保、米に変わる所得維持・向上につながる作物へのシフト、米作り離脱からの離農による耕作放棄地の拡大等が懸念されます。廃止以降の町からの補てんは、今後の国、県、近隣市町村の動向を注視しながら、農家の声に傾聴して判断したいと考えております。また、農家の担い手の件数は、農業者年金受給者の後継加入対象者名簿から推測しますと30件弱かと考えております。支援策については、町単独事業では、にんにく種子助成、馬鈴薯薬剤助成、ごぼう土壌消毒剤助成、野菜残渣処理費助成、廃プラ処理費助成、家畜導入促進事業補助金、なたね助成金等を当初予算に計上して支援していくこととしており、横浜町の将来を担う人材育成に務めていきたいと考えております。農

協との連携につきましては、J A十和田おいらせ横浜町支店の力借りずして農政を進めることは出来ないものと認識しており、今後も生産現場の農協とのパートナーシップのもと、農業者の所得増大、農業生産の拡大、そして、地域の活性化に取り組み所存です。

一般質問



野坂 浩二 議員

質問① 町公共施設等における修繕・改修計画について

当町の公共施設におきましては、昭和50年建設の役場庁舎をはじめ昭和61年トレーニングセンターなど横浜小学校を除

くもつとも新しい施設でも平成17年の横浜中学校、道の駅に隣接する特産物加工センターで約12年余りが建設から経過しています。来年度の修繕・改修計画について伺います。また、地元業者で対応できるような大規模改修になる前に修繕・改修ができないか伺います。

答弁(町長)

29年度には、トレーニングセンター、役場庁舎、ふれあいセンターの修繕を計画しています。

町施設については役場庁舎、トレーニングセンター、保健センター等いずれの施設も老朽化が進み修繕が必要な状況となっており、役場庁舎はすでに築40年が経過し、老朽化によりピロティを撤去しております。29年度では、トレーニングセンター、役場庁舎、ふれあいセンターの修繕を

計画しております。また、その他の施設についても、公共施設等総合管理計画に基づき、大規模改修や更新、長寿命化など財政負担の軽減や平準化を考慮しながら取り組んでいきたいと考えております。小破修繕など基本的に、地元業者で対応できる修繕等に関しては、地元業者で対応しており、今後も継続したいと考えております。

質問② 全公共施設のLED化について

新学校給食センターの電気料金が1ヶ月で約160万円と試算され、当書の見込み額より大幅に上回っているようです。経費・維持管理・運営費の削減を目的とした、全公共施設をLED化とする考えがないか伺います。

答弁(町長)

トレーニングセンター、ふれあいセンターともにLED照明へ交換予定であり、その他施設等についても検討していきたい

現在、トレーニングセンター改修時にアリーナにある水銀灯をLED照明に交換予定であり、またふれあいセンターの大集会室の交換も計画しております。その他施設等につきましても大規模改修等の修繕時において検討してまいりたいと考えております。



改修工事が行われる横浜町トレーニングセンター

【陳情】

若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

(採 択)

提出者

青森市中央1丁目6-6
全日本年金組合青森県本部
執行委員長 千代谷 邦弘

【要請】

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

(議員配布)

提出者

青森県町村議会議長会
会長 澤口 勝



予算審査特別委員会

平成29年度の一般会計及び特別会計予算は、
予算審査特別委員会（澤谷松大委員長）に付託し審議しました。
町政全般にわたり質疑がありました。



澤谷松大 委員長

予算審査特別委員会は3月7日から8日の2日間開催しました。平成29年度当初予算案について慎重に審査し、澤谷松大委員長から本会議にその内容を報告しました。

【主な審議内容】

総務課

（歳 出）

問 防犯灯のLEDが町のあちこちに設置されていますが、現在どのくらいの進捗状況なのか。

答 28年度事業を実施した中で町内のLED化は網羅されていると思っております。まだまだ不足している部分はあるかと思いますが、要望等を聞きながら場所を確認して新年度の予算の範囲内で

対応していきたいと思っております。

問 耐震補強設計業務委託料ということで、役場庁舎の耐震調査を行ったと思いますが、その結果をお知らせ願いたい。

答 耐震調査をした結果、ISO・47ということですが、地震で倒壊する恐れがあるという報告を受けております。ISO・6になりますと建設の基準に達すると思っております。今回予算計上した金額につきましては、もう1段階上の0.75で人命と建物の最低限の機能を確保するという形の耐震補強をしたいという事で予算化しております。建物自体も40年以上経っておりますが、屋上等のメンテナンス、外壁等崩れていますので、それらも併せて設計していただいで、30年度には外壁と耐震補強を実施していきたいと考えております。

企画
財政課

問 ふるさと納税に係る特産品費を20万円計上していますが、29年度はどんな物品を納税者にお返しするののか。

答 ふるさと納税の返礼品につきましては、寄附金の10%を返礼品としてお返しすることとしています。大口寄附者に対してはナマコ等を12月にお送りしています。また、その他につきましては農産物、じゃがいもや長芋、ホタテ等を送っております。

問 公共施設の解体の基金4,400万円計上していますが、予定ではこの先どのように使用していくのか。

答 今年度約4,500万円積立しております。来年度にも4,400万円積立し、約9,000万円弱になるかと思えます。予定では30年度に旧横浜小学校の解体を計画

しております。

健康
福祉課

（歳 出）

問 地域活動支援センターとコミュニケーション支援事業や自動車運転免許取得改造助成の説明をお願いします。

答 地域生活支援事業費は障害者のための事業費でございます。コミュニケーション支援事業は支援者が訪問して支援したり、ケアマネージャーさんがデイサービス事業、障害者の自宅へ行っていろいろなサービスをする事業でございます。自動車運転免許取得・改造助成は自動車を運転する際に障害者が無理の無いように改造したりする費用でございます。



産業課
産振興

(歳 出)

問 今年全国の和牛の品評会が宮城県で行われます。4年に1回東北で開催されるといふことで、できれば参加される方に対する助成を検討できないか。

答 和牛品評会について、現在予算措置はしておりませんが今後協議したいと思います。

問 菜の花フェスティバル運営事業費ですが、以前はPRのための予算を取っていました。今年その項目がありません。最低でもJR、東京の青森のアンテナショップに宣伝をするための派遣をしてもいいのでは。

答 観光協会の役員会の案件の一つとして函館に行つて菜の花フェスティバルのPRをする案件がでておりましたので前向きに進めて行ければと考えております。

建設課
水道課

(歳 出)

問 太郎須田ため池整備事業の内容をお知らせいただきたい。

答 事業内容については県営事業で28年度から施行されており。28年度におきましては調査設計を行ひまして、29・30年で工事発注いたします。31年度の附帯工として少し計画されており、29・30・31年度のため池事業が完了ということになります。29年度の工事内容としては表面に張りブロックを行う予定です。

教育委員会

(歳 出)

問 町費負担臨時教員賃金の1,400万円は何人予定されているのか。

答 小学校2名、中学校2名、あわせて4名の採用予定です。

問 小・中学校入学助成事業補助金の中身は。

答 小学校、中学校新しく1年生になる子供への体操着の助成です。

問 現在、納税組合が何組合あるのか。

答 浜田から豊栄平まで28組合ございます。ちなみに547世帯が加入しております。

問 成人式が8万4千円の予算になっていきますが、なんとかグレードアップしてほしいと要望していたが現在どうなっているのか。町民としても誇りが持てる成人式にしてほしい。

答 成人式は事務局においても新しく成人する人たちが委員会をやってはどうかと意見はでていますが、なかなか実行できていない状況ですが、今後検討していきたいと思ひます。



『4町村議会議員
研修会が開催』
〜野辺地町〜

2月6日野辺地町・東通村・六ヶ所村・横浜町の4町村議会議員研修会が野辺地町立図書館で開催され、当町議員8名が出席しました。

研修会では青森県産業技術センター畜産研究所石山治所長が「畜産の試験状況の概要について」と題し、地方独立行政法人「青森県産業センター」の目的や組織体制、研究内容について講演をしていただきました。

講演では、和牛と表示できる牛肉の品種や黒毛和種の3大系統、種雄牛づくりや青森県の基幹種雄牛としての「第1花園」のエピソードなどが紹介されました。

また、畜産研究所ではシャモロックの開発や牛の飼料生産・環境の研究をしていることが紹介されました。



第2回臨時町議会

臨時町議会が3月23日に開催され、1案件を審議し原案のとおり可決されました。

〈審議した内容〉
◎工事請負契約の一部変更について

平成29年3月8日付けで一部変更契約を締結した公教第2号横浜町学校給食センター建設工事について、工事請負契約の一部を変更する契約を締結したので、横浜町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案するものです。

工事名

横浜町学校給食センター建設工事

工事金額

変更前	金	552,956,	570円
変更後	金	552,876,	840円

契約の相手方

十和田市東13番町15番地27号
株式会社 福萬組
代表取締役社長 井上 馨

横浜町学校給食センター視察

3月23日、全員協議会が開催され、横浜町学校給食センターの現場視察をしました。教育課澤谷GLより工事の概要等についての説明がありました。

新給食センターは乾式とオール電化システムとなっており、給食提供は2学期から行われる予定です。



行政懇談会

3月21日南地区老人憩いの家、22日有畑町内会館、23日ふれあいセンターにおいて行政懇談会が開催され、大澤議長はじめ議員の方々も出席いたしました。



(南地区)



(北地区)



(本町地区)

委員会報告

《産業民生常任委員会》

澤谷松大 委員長

去る、2月21日(火)産業民生常任委員会が開催されました。関係課長より3月定例町議会に提案する案件等の説明がありました。

また、報告事項として、
 *産業振興課から、第27回菜の花マラソン大会及び「ぐるっと隊」について
 *健康福祉課から、平成29年度に作成する各種計画について

*建設水道課から、横浜地区(百目木漁港)漁港施設機能強化事業の繰越および横浜町特定環境公共下水道事業中止に係る現在の状況について
 説明がありました。

説明終了後、委員より
 *町営牧場の現状と今後の対応について

*トレーニングセンター改修工事における使用及び補

助内容について

*ホタテ稚貝への海鳥による被害対応について

*臨時福祉給付金の給付状況について

*下水道の償還期限について

などの質問が出され、担当課長及び関係職員が答弁して終了しております。

《総務教育常任委員会》

飯田弘志 委員長

去る、2月22日(水)総務教育常任委員会が開催されました。関係課長より3月定例町議会に提出する案件等の説明がありました。

また、報告事項として、
 *教育課から、平成29年度管内小・中学校の児童生徒の見込み数について

*税務課から、平成28年度町税・国民健康保険税の徴収状況について

*町民課から、平成30年度からの国民健康保険の運営について

*総務課から、災害発生時の対応と平常時における高

齢者等見守り活動の相互協力および道路損傷等発見時の対応に関する協定書について、行政懇談会の開催について

説明がありました。

説明終了後、委員より

*学校給食センター建設工事請負契約の一部変更の内容および引越し時期について

*教職員住宅の一般町民への貸し出しについて

*臨時職員の応募者と採用状況について

*町民税等の増額の要因について

*平成30年度からの国保運営方式の変更による保険料の算定方法について

*小型風力発電ガイドライ

ンの現状把握について

*分団への消防車整備にかかる車検の点検について

*中学生の通学路となっているバイパスへの防犯灯整備について

などの質問が出され、担当課長及び関係職員が答弁して終了しております。

《議員活動報告》

2月21日(火)

*産業民生常任委員会

2月22日(水)

*総務教育常任委員会

2月23日(木)

*議会運営委員会
(第1回定例町議会)

3月16日(木)

*議会運営委員会
(第2回臨時町議会)

3月21日(火)

3月23日(木)

*行政懇談会

3月23日(木)

*全員協議会

(横浜町学校給食センター視察)

4月18日(火)

*広報編集委員会

議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化の一つです。3月定例会の傍聴者は18人でした。次の定例会は6月(第2回定例議会)の予定です。みなさんの傍聴をお待ちしております。(詳しくは議会事務局まで)

みなさんの声をお聞かせください

町民の皆さんに親しまれる紙面づくりを目指し、ご意見、ご要望(傍聴された方のご意見も合わせて)お待ちしております。

広報編集委員会
 TEL78-2111 内線430・431